

神根中だより

～聴き合い、学び合える居心地の良い学校～

2024年9月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

フランス国旗の「自由・平等・フラテルニテ」

校長 松村 一人

この夏、フランスの首都パリで行われたオリンピック。オリンピックの中継中にみなさんも開催国であるフランスの国旗を幾度となく見たことでしょう。国旗の青・白・赤の三色は、「自由・平等・博愛」の意味があり、1789年のフランス革命のスローガンに由来があるといえます。私も中学生の時に、フランス国旗の意味を知って、「自由・平等・博愛のスローガンってすばらしいな」と思った思い出があります。

さて、20年ほど前のことです。ある博学な人から、「自由と平等は全く別のもの。というか、概念自体が矛盾している。両方が成り立つには無理がある。だから、自由を目指す人と平等を目指す人が分かり合える訳がない。そうすると国として一つにはまとまらない。だから、その橋渡し役（中間役、緩衝材としての役）としての博愛が必要なんです。」と教わったのです。目からウロコが落ちる思いでした。自由も平等も博愛も素晴らしいこととしか考えずにきたのですが、確かにそうです。

自由といえば、みんながやりたいことを自由に好き勝手に行う。自分が儲けたい方法で商売をして、生活する。そうすると、競争社会にもなります。必然的に貧富の差も生まれます。自由だけが横行すると大変な世の中になってしまいそうです。弱者への手助けもこの社会には必要ははずです。

一方、平等な社会はどうでしょう。確かにみんなが平等なのはいいことかも知れませんが、しかし、一生懸命働いた人と全く働かない人とが平等に同じ給料（同じ生活、同じ食料）をもらったらどうでしょう。みんな、やる気がなくなってその国（その世界）は衰退していくでしょう。

人は自由も好きだし、平等でもあって欲しいと願うでしょう。でも、どちらか一方だけの極端なことになるたら、とんでもないことになるでしょう。だから、その2つを結びつける「博愛」が必要なのでしょう。

では一体、この「博愛」って何でしょう？イメージがわきにくい概念です。

実は、この「博愛」というのは誤訳だと言う人がいます。フランス語では「リベルテ（自由）、エガリテ（平等）、フラテルニテ」というそうで、このフラテルニテは、「博愛＝仲良くすること」ではなくて、「異質な他者を尊重すること」だそうです。「自由と平等」が矛盾し対立する二つの概念であるならば、確かに「この二つの異質が仲良くすること」ではなくて、「異質なまま、相容れなくてもお互いに尊重する」ということなら、腑に落ちるのではないのでしょうか。そして、この「フラテルニテ」という概念こそ、これからの人たちは理解し、活用すべき時代に向かっているのではないのでしょうか。そうすれば世界各地で起きている戦争・紛争もなくなる未来につながると考えます。

